

## 第3学年 道徳学習指導案

平成24年6月26日（火）第5校時

- 1 主題名 自然とともに 3－（2） 自然愛・畏敬の念  
資料名 「旧芝川の再生を願って」（出典 彩の国の道徳「自分をみつめて」）

### 2 主題設定の理由

#### （1）ねらいとする道徳的価値について

本資料は、内容項目3－（2）「自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める」ことをねらいとしている。

今の私たちの社会は、便利さを追求し、自然を顧みることを怠ったため、自然のバランスが崩れてしまっている。しかし、人間は、自然の美しさ・豊かさに触れることで、心が落ち着き、心豊かな生活を送ることができるのではないだろうか。心豊かな社会、人生を送るために、自然の生命を感じ取り、自然との心のつながりを深め、共生していく心を育てたいと考え、本主題を設定した。

#### （2）生徒の実態について

中学3年の時期は、知識や経験も増え、さまざまなことに興味をもって、自分の世界が広がっていく。感受性も豊かなこの時期に、自然や人間の力を超えたものに生かされていることを自覚し、自然愛や畏敬の念について考えることは大切なことである。

生徒たちは、普段、改まって自然について考える機会は少ないかもしれない。だが、身近な地域を美しくしようとするクリーンパトロールに、大勢の生徒が自主的に参加しているのを見ても、自然に対する関心は高いと思われる。壊れてしまった自然を取り戻すことは難しく、多くの人の協力があって初めて可能となること、人間の力には限りがあり、それを超えた自然の力が必要となることに気づかせたい。

#### （3）資料の活用について

人間が壊してしまった自然（旧芝川）を回復させる鍵が自然だったという実話に基づく資料である。潤いがあり、生活に密着していた芝川は、河川改修により、悪臭漂うドブ川になってしまった。ドブ川となった旧芝川を、何とか元のような魚が泳ぎ、子どもたちが水辺で遊べる川にしようと、主人公の鈴木さん（仮名）を始め、芝川緑化期成同盟会・地元住民・子どもたちが、努力を重ねていく。多くの人の熱意により、ヘドロ除去作業、取水堰設置などの環境整備を進めるが、なかなかかつてのような川とならなかった。そんな中、汚れた排水を微生物の力で分解する「植生浮島」、微生物を活性化させる洗浄剤を地域住民・学校・工場などみんなで使う取り組み、ワンドの造成、ヨシ等の植物を植える、微生物を集める炭素繊維水草マットを敷き詰めるといった努力を重ねた結果、メダカが泳ぎ、カワセミが見られる川となった。鈴木さんの気持ちを考える中で、自然や人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めさせたい。

### 3 ねらい

自然の生命を感じ取り、自然との心のつながりを見いだして、共に生きようとする態度を育てる。

#### 4 他の教育活動との関連

事前指導	・「身近な自然」についてのアンケートを実施する。
道徳の時間	・資料名「旧芝川の再生を願って」
事後指導	・学校生活の様々な場面で自然との関わりについて声かけをする。
その他	・毎年行われているクリーンパトロールへの参加等、実践の場へとつなげていく。

#### 5 学習指導過程

	学習活動（主な発問）	予想される生徒の反応	・指導上の留意点 ☆評価の観点
導 入	1 「身近な自然」のアンケート結果を発表する		・本時の授業への意欲を高める。
展 開	2 資料を読んで考える 3 話題をもとに話し合う ①「人間の行為を改めて悔やんだそうだとあるが鈴木さんはどんなことを考えたのだろう。 ②「こんなにも、みんなの心がひとつになるなんて・・・」と語る鈴木さんはどんなことを考えているのだろう。	・資料の条件、状況を把握する。 ・主人公の心の動きに注目しながら範読を聞く。 ・いったい、いつになったらきれいになるのだろう。 ・本当に川は、回復するのだろうか。 ・こんなに努力をしてきたのに。 ・今度こそ川がきれいになるかもしれない ・住民・学校・工場が協力してくれて嬉しい。	・条件・状況を説明し、主人公の心の動きに注目させておく。 ・主人公の心の動きに注目させ範読する。 ・人間のしてきたことを嘆き自然回復にあきらめの気持ちも芽生えてきたこともおさえる。 ☆旧芝川再生の願いが叶わず、あきらめかけている気持ちがおさえられたか。 ・自然への魅力や憧れは誰の心の中にもあることをおさえる。 ☆みんなの協力で希望をもてた気持ちをおさえられたか。

	<p>③「自然ってすごいなあ」と語る鈴木さんは自然に対してどんな思いを強くしたのだろう。</p> <p>4 今日の授業を通して「自然とどう関わっていくか」を考えて書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間があんなに努力したのに、川をきれいにしたのは自然だった。</li> <li>・自然を大切にしていこう</li> <li>・今日の授業を受けて自然との関わり方を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然が目に見えない偉大で崇高な力を持っていることに気づかせたい。</li> <li>☆自然の力の偉大さに気づけたか</li> <li>・これから自分が生きていくなかで自然に対してどう関わるかを考えて書かせる。</li> <li>☆自分の生き方として自然との関わり方を書けているか。</li> </ul>
<p>終末</p>	<p>5 「水辺再生100プラン」のひとつである元荒川について話をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの生き方としてとらえさせたい。</li> </ul>

## 6 評価

### ○生徒の観点

- ・友だちの意見を聞き、自分の考えを発表することができたか。
- ・自然の生命を感じ取り、自然との心のつながりを見いだすことができたか。
- ・自然と共に生きていこうと考えることができたか。

### ○教師の観点

- ・資料の内容・観点は生徒の実態にあっていたか。
- ・生徒の意見を活かして話し合いが進められたか。
- ・自然の生命を感じ取り、自然との心のつながりを見いだして、共に生きようとする態度を育てる授業となったか。

## 7 板書計画

